

経営比較分析表（平成30年度決算）

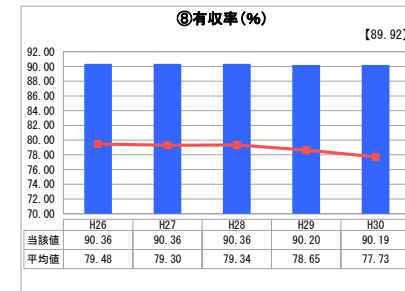
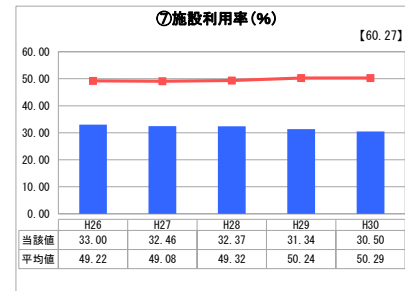
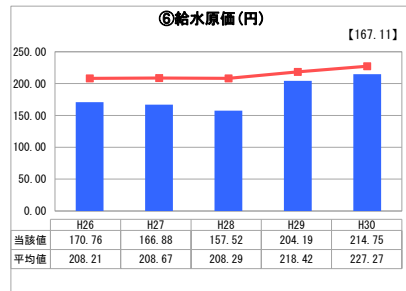
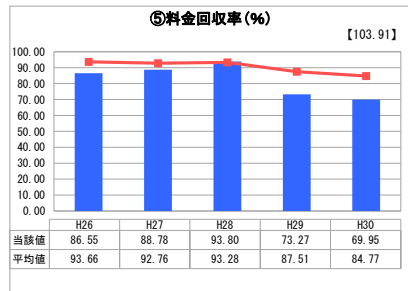
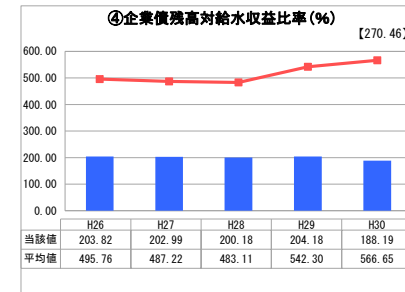
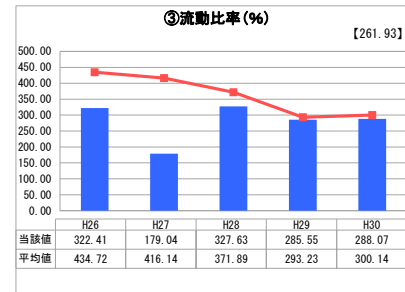
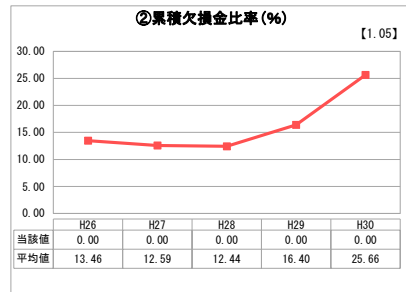
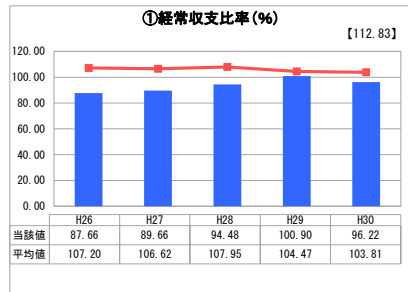
徳島県 つるぎ町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	81.38	86.00	2,910	

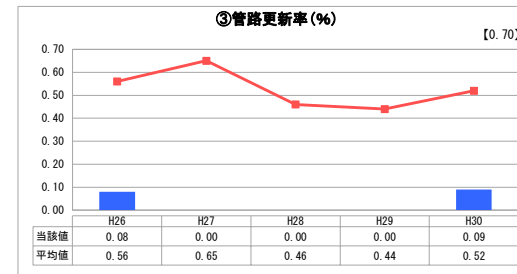
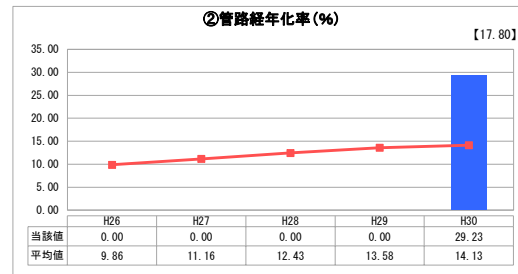
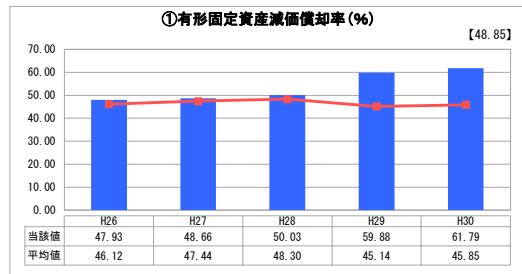
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
8,959	194.84	45.98
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
7,642	49.04	155.83

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・経常収支比率は、前年の100%越えに続くことができなかった。継続できるような経営改善に取り組みたい。料金回収率が下がっている。旧簡水経費に対して、引き続き一般会計から基準外繰入金で補填していることが影響している。給水原価が上がっている。投資の効率化や維持管理費の削減といった経営改善の検討が必要である。施設利用率については、この5年間を見て横這いで類似団体平均値を下回っている。難しいが、施設統廃合やダウンサイジング等の検討も必要となる。

2. 老朽化の状況について

・有形固定資産減価償却率及び管路経年化率が平均値より高い。H29年度、簡水との統合で法定耐用年数に近い資産及び年数を経過した資産が増えている。管路更新率については、5年ぶりに数値が上がった。しかし、平均値からみても低い数値であるため管路更新の投資を増やす必要性が高い。

全体総括

・各指標の分析の結果、必要な更新投資が先送りになっている。これにより、更新投資等に充てる財源の確保が必要となる。現在の慢性的な赤字体質から脱却を図るため、現行の基本料金と超過料金を30%程度改定した。一定の内部保留を確保しつつ、経営戦略の中にある更新計画を踏まえた収支計画を留意しながら、更新実施に充てていく。